

発行

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所 〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX 浜松町ビル6F
TEL (03)3438-0984(直通) FAX (03)3431-1803

第35期生139名が受講スタート!!

社会福祉士への期待

第35期生の皆さん、本養成所へのご入学おめでとうございます。受講生の皆さんの多くは仕事を持ちながらの学びとなりますが、必ず新しい世界が開けますので最後までやり遂げてください。

私事ですが、私は本養成所の一期生として学び、社会福祉士の資格を取得しました。地元の山形で仲間とともに社会福祉士会の立ち上げに参加し、その後、本養成所で主に社会人の皆さんの養成に関わり、30年を越す月日が経ちました。現在は複数の社会福祉士養成校の教員として「ソーシャルワーク演習」を担当していますが、演習のたびに受講生の皆さんから多くの気づきや感動をいただいています。それは、通信教育の受講生は福祉の現場で働いている方がほとんどで、実践の中で様々な葛藤や悩みを経験し、現場を良い方向に変えたい、利用者の力になりたいとの強い思いから社会福祉士を目指す方が多いからです。

私の担当する「ソーシャルワーク演習」では、受講生の皆さんと体験や思いを再確認するために、社会福祉士の志望動機を共有するワークから始めることにしています。社会福祉士国家試験に合格することは大切ですが、同じ志を持つ仲間との出会いはそれ以上に大きな財産となります。資格取得後も日々研鑽に努めて障害のある方や様々な課題のあるクライアントに貢献することが私た

ちに求められています。

現在、障害福祉の現場は人手不足等により複雑化するニーズに対応する専門性の確保が難しい状況にあります。国の社会保障審議会福祉部会では、これからの福祉人材のあり方として「饅頭型から富士山型へ」という提案がなされました。すそ野が狭く専門性の分化に乏しい饅頭のような状態から、富士山のようにすそ野を広げ多くの人が参入しやすいたうえで、管理者等が適切なマネジメント力を発揮しサービスの質や専門性を担保する仕組みが想定されています。私はその中核に位置づけるのが実践力を伴った社会福祉士であると考えます。そこに社会福祉士が医療の分野等における「業務独占資格」とは異なり「名称独占資格」とされている意味があるように思います。

様々な理由から生きることの困難さを抱えるクライアントが社会の中で幸福な人生を送るために支援することが私たちの役割です。仕事を続けながらの学びは困難なこともあると思いますが、知識、技術、価値、倫理を備えた実践力のある社会福祉士を目指してください。期待しています。



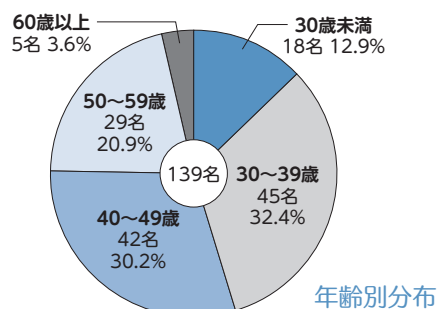
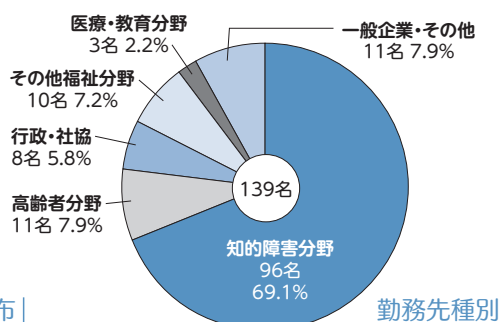
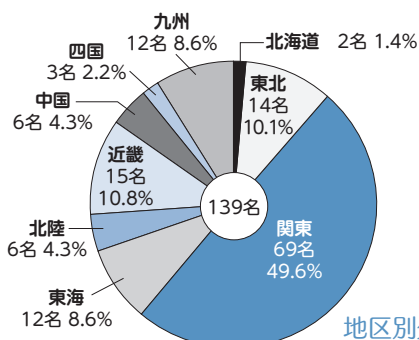
社会福祉士養成所 所長
井上 博
日本知的障害者福祉協会 会長

第35期生の概要 (令和5年6月現在)

第35期生社会福祉士養成所の受講生は、139名です。概要については下記の通りとなります。

運営状況(過去3年間)

年度(期生)	応募者数	入学者数	修了者数
令和3年度(33期生)	181名	170名	159名
令和4年度(34期生)	173名	163名	
令和5年度(35期生)	149名	139名	



第35回 国家試験結果報告

第35回社会福祉士国家試験において本養成所より216名（うち4年度修了者75名）が合格しました。前年度（第34回試験）は122名（うち3年度修了者61名）でした。

これまでの国家試験の結果

	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第33回試験	35,287	10,333	29.3
第34回試験	34,563	10,742	31.1
第35回試験	36,974	16,338	44.2
第1回試験からの合計	1,018,749	290,996	28.6

本養成所修了者の国家試験の結果

	総数	新卒		
	合格者(人)	受験者(人)	合格者(人)	合格率(%)
第33回試験 (31期卒業生)	139	201	84	41.8
第34回試験 (32期卒業生)	122	161	61	37.9
第35回試験 (33期卒業生)	216	144	75	52.1

第36回社会福祉士国家試験の概要（予定）

1. 試験日：令和6年2月4日（日曜日）
2. 受験手数料：19,370円（昨年度額）
3. 受付（提出期間）：令和5年9月7日（木曜日）から10月6日（金曜日）まで

詳細は、社会福祉振興・試験センターのホームページ (<http://www.sssc.or.jp/>) をご参照ください。

From Teacher — 科目担当教員から



歴史的視点から社会福祉士を理解する

社会福祉の理念や成り立ちを知ることで、社会福祉士としての役割について考えてみましょう。社会福祉士の資格ができてから30年以上経ちました。近代国家となっても戦前には社会福祉という概念はなく、慈善事業や社会事業と位置付けられてきました。戦後日本国憲法のもとで、展開されてきているのが社会福祉です。実は、社会福祉士の国家試験科目の中には、社会福祉発達史という科目がありません。このために社会福祉発達史は、十分に学修されない場合が多いのですが、社会福祉について理解しようとするときに、社会事業や社会福祉の歴史をもとに考えることが重要です。そこで、社会福祉士の資格を取るために勉強している皆さんに、二つの歴史的視点から見た社会福祉について考えてみることを提起したいと思います。

日本では律令政治や仏教とともに慈悲に基づく施しが平安時代ごろに始まりました。この時、慈悲に基づく救済事業の対象として、鰥寡孤独^{かんかこどく}という考え方が位置付けられました。鰥寡孤独の意味は、鰥：61歳以上にして妻無し、寡：50歳以上にして夫無し、孤：16歳以下にして父無し（子ども）、独：61歳以上にして子ども無しという意味ですが、当時の救済対象は、家族によるケアが受けられない人という考え方だったのです。この考え方は、明治維新以降近代国家が成立してからも続きます。1874年に施行された初めての救貧法^{じゅうひんほう}である恤救規則^{じゆきうきそく}では、その対象として「無告の窮民」を救うという目的が掲げられましたが、その意味は、身寄りのない困窮者という意味です。この考え方が、戦後の新憲法施行によって、大きく変わって慈善事業や施しから、基本的人権に基づいた「社会福祉」という考え方、

一定の生活水準を国が保障するという考え方に移行します。社会福祉士の仕事の一つは、人権擁護ですが、貧困になった要因や家族の状況にかかわらずその人の基本的人権を守るために支援をすることが重要です。

戦後経済の急速な発展とともに福祉国家体制が構築されました。

高度経済成長によって得た税収によって社会福祉を充実していったのです。1970年代には、老人医療費を無料にするなど福祉国家体制が完成に近づきましたが、1973年のオイルショックにより福祉政策は後退しました。その後、1990年代以降になると高齢化や人口減少により右肩上がりの時代から定常化の時代へと移行していきます。このような経済成長の変化が、実は、社会福祉のあり方にも影響を与えています。すべてを国が担う時代から、地方分権によって市町村が社会福祉サービスについて責任を持つようになりました。また、公が担ってきた社会福祉サービスは、介護保険法の導入などによって供給主体が民間企業を含む多元的な主体に転換していきました。さらには、公共の概念も多様化し、協同的な主体による新たな公共も登場しています。これらの基本的方向性に基づき、法の制定や、法改正が行われてきました。

このような視点を踏まえて、今後社会福祉士としてどのような仕事をしていくのかを考えていただければと思います。



仁科 伸子

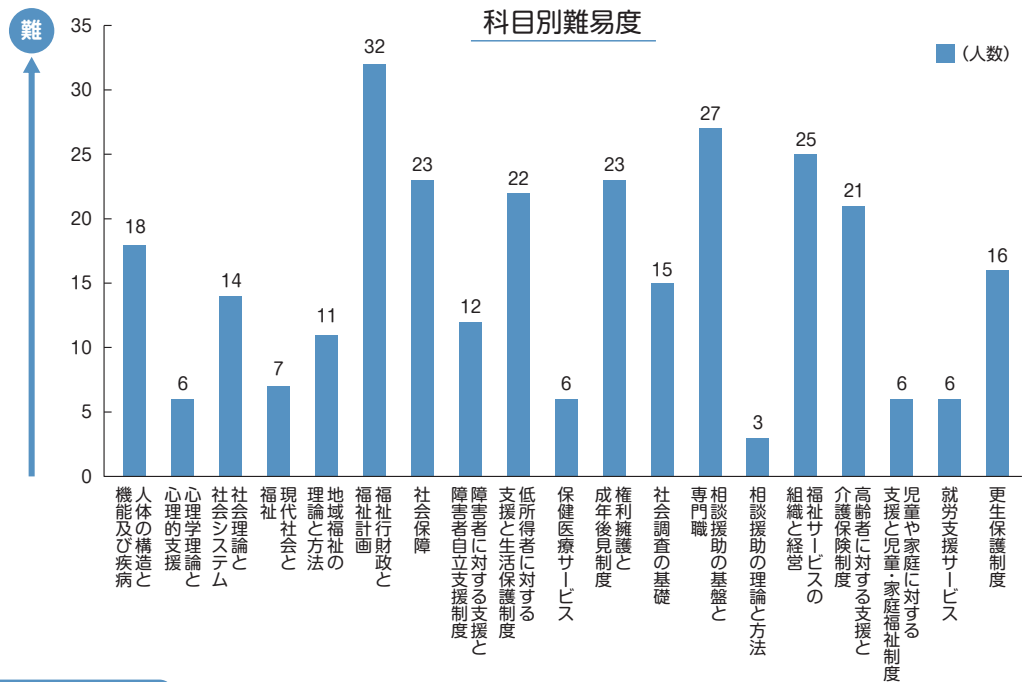
熊本学園大学教授
「福祉行財政と福祉計画」/
「地域福祉と包括的支援体制」
担当

第35回 アンケート科目別難易度

令和4年10月に修了した第33期生160名を調査対象とし、116名(①受験をした110名②申込みをしたが当日受験しなかった3名③申込みをしなかった3名)からの回答が得られました。

図は受験者の回答をもとに難易度(難しいと答えた人数)を示しています。

※厚生労働省への報告のため、現在もアンケートは回収をしていますので、未提出の方は早急に提出してください。



先輩からのメッセージ

合格した方からのコメント

<スケジュールと環境の工夫>

- レポートが終了したら、すぐ試験勉強を始める。
- 総勉強時間を300時間と設定し、開始時期を逆算して、毎日の進捗をカレンダーに記入していった。
- 試験前1か月半は、朝勉強を続けて朝のリズムを意識した。不規則な生活をせずに睡眠をきちんととること。

<学習方法の工夫>

- 時間が足りず、人名などは覚えきれなかったが、全問正解を目指さず、0点科目を作らないように勉強することがコツと感じた。
- 自分が使ったのは1冊の解説付き過去問のみ。すべての選択肢の正誤の理由を自分の言葉で説明できるくらいまで繰り返した。数冊の問題集より1冊の過去問を完璧に仕上げるのが合格への近道だと思う。
- スクワリングで学習参考書を比較でき、高いなと思ったが活用できた。
- 50代の受験は、若い人のような丸暗記は無理なので、理解しないと覚えられない。でも時間がないので深いもしないよう気を付けた。
- 記憶のシステムを活用して、前日解いた過去問を翌日再度解き、記憶の定着を図ったことは、かなり効果があった。
- むやみに暗記するのは避けた方がよい。Web上で人物の顔写真やエピソードを検索した。発見も多く覚えやすかった。
- 10月の模擬試験はボロボロだったが、その時点での実力とどこを強化するのがわかるので、このタイミングでの模試は絶対にお勧め。
- 振り返れば、レポート作成で、統計を検索し、福祉六法

で法令を確認し、文献を参照したことが、試験対策としても有効であったと思う。

- 基本項目チェックテスト(34期生からは国家試験キーワードチェック)はその名のとおりで、やってから過去問を解くと理解度が全く違った。
- 問題を早く解けるようにしたことで、当日見直しの時間ができ、マークミスを防ぐことができた。
- 無料の受験対策動画は、教室で受講しているような姿勢で勉強した。
- 養成所の頻出項目チェックテストと年表と人名のまとめは自分で追加しながら活用した。いつも持ち歩いて隙間時間にやった。
- 自分に合った丁寧でわかりやすいYou tubeを通勤中も家事の間も入浴中も寝ている間も聴き、耳と目から情報を入れ続けた。
- 仕事の休憩や移動中はスマホアプリを使い、ゲーム感覚で勉強した。
- 通信課程の勉強は孤独なので、メルマガは、皆さんとの繋がりを感じ、読むと元気が出ていつも励まされた。直前の御守りになった。

残念ながら合格できなかった方からのコメント

- 早く学習を始めるべきだった。働きながらの学習は想像以上に難しい。
- あと3点と自分の努力が足りなかったが、同じ教材を繰り返し学ぶことで来年に備えたい。
- 学習は頑張ってた進めていたが、コロナなどで体調を崩してしまうと受験できなくなるので十分に気を付けてほしい。



木伏 正有

社会福祉士
登録第 99609 号

新しいカリキュラムのスタートです

第35期生の皆様、ご入学おめでとうございます、当養成所へようこそいらっしゃいました。社会福祉士になるという思いを1年半の学びに活かしていただきたいと思います。

さて、当養成所は、皆さんの学年から、新しいカリキュラムとなりました。1987（昭和62）年に創設された社会福祉士資格の養成カリキュラムは、2007（平成19）年度に1回目の見直しが行われ、今回の2019（令和元）年度が2回目の見直しになります。この10年で社会情勢は変わり、生活課題も多様化・複雑化・複合化してきています。皆さんが出願時の小論文で取り上げていた8050問題やヤングケアラー、虐待、多文化共生など、ひとつの分野や制度では対応が難しい、ましてやひとりのソーシャルワーカーの力では支援が難しい状況であることがわかります。

今回の見直しでは、地域共生社会の実現に向けて、様々な生活課題に対応するべく、多くの機関や分野と協働するために必要な機能の習得が重要とされています。また、そのためには、専門職だけが動くのではなく、地域の皆さんが主体となり地域課題を解決していけるような支援力も求められています。

具体的には、地域共生社会に関する科目「地域福祉と包括的支援体制」の創設、司法領域に関する教育内容の見直し等、養成カリキュラム内容の充実が図られました。更に、実習と演習の充実が示され、特に実習は、時間数を180時間から240時間に増やし、2か所以上の機能や対象が異なる

施設で行うことになりました。この拡充のねらいは、ソーシャルワークの実践能力を有する社会福祉士を養成するためといわれています。皆さんが業務や学業を調整し捻出した貴重な時間です。大いに活用して学び取っていきましょう。

一方、所定の実務経験のある皆さんは、実習科目は免除になります。しかしながら、これから学ぶ知識や技術、価値や倫理をもって、ご自身の現在の業務や以前経験した業務を振り返ってほしいのです。学んだことと実際の支援との行ったり来たりこそが実践力を高めていくのだと考えます。今、支援している方やまだ出会っていない方の困り感が軽くなり、暮らしている地域がより暮らしやすくなるように、幅広い知識と技術、価値と倫理を学んでいきましょう。

最後に34期の皆さん、いよいよ5学期に入りました。本課程の修了という一つのゴールが近づいています。そして、レポート作成が終わったら、二つ目のゴールの国家試験合格に向けた勉強に切り替えます。皆さんは、旧カリキュラムで受験する最後の学年になります。是非、全員で合格し、国家資格を手にししましょう。当養成所もその日まで伴走していきます。今年度もよろしくお願いします。

養成所 ニュースプラス+

「養成所ニュースプラス」は、登録されたメールアドレスに随時、養成所からのお知らせや受験に関する情報、過去の国家試験問題と解説等*をお届けするメールマガジン（無料）です。通勤・通学や普段の学習の合間に、受験勉強の“きっかけ”としてご利用ください。登録に関してはホームページをご覧ください。

公益財団法人日本知的障害者福祉協会 社会福祉士養成所



令和5年度スクーリング日程

	34期生スクーリングⅡ	35期生スクーリングⅠ
東京会場	令和5年7月21日(金)～23日(日)	令和5年8月18日(金)～20日(日)
仙台会場	令和5年7月15日(土)～17日(月祝)	令和5年7月15日(土)～17日(月祝)
名古屋会場	令和5年7月28日(金)～30日(日)	令和5年7月28日(金)～30日(日)
大阪会場	令和5年7月7日(金)～9日(日)	令和5年7月7日(金)～9日(日)
福岡会場	令和5年8月25日(金)～27日(日)	令和5年8月25日(金)～27日(日)



国家試験にむけての おすすめ図書

- ・週刊福祉新聞（福祉新聞社）
- ・福祉小六法（中央法規出版、ミネルヴァ書房）
- ・社会福祉用語辞典（中央法規出版、ミネルヴァ書房）
- ・社会福祉士過去問解説集、社会福祉士国家試験受験ワークブック共通科目編／専門科目編（中央法規出版）
- ・社会福祉士国家試験のためのレビューブック、クエスチョン・バンク社会福祉士国家試験問題解説（メディックメディア）